2026年８月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年１月14日

上場会社名	株式会社セラク		上場取引所　東
コード番号	6199	ＵＲＬ　http://www.seraku.co.jp	
代表者	（役職名）代表取締役	（氏名）宮崎　龍己	
問合せ先責任者	（役職名）上席執行役員経営管理本部長	（氏名）米谷　信吾	（TEL）　03（3227）2321
配当支払開始予定日	－		
決算補足説明資料作成の有無	：有		
決算説明会開催の有無	：有		

（百万円未満切捨て）

１．2026年８月期第１四半期の連結業績（2025年９月１日～2025年11月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年８月期第１四半期	6,252	0.9	582	△24.3	587	△24.3	356	△25.8
2025年８月期第１四半期	6,200	15.6	768	46.4	775	46.4	481	60.0

（注）包括利益　2026年８月期第１四半期　355百万円（△25.9％）　2025年８月期第１四半期　480百万円（60.3％）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年８月期第１四半期	26.93	26.88
2025年８月期第１四半期	35.61	35.55

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年８月期第１四半期	14,078	9,032	63.9
2025年８月期	13,324	8,902	66.6

（参考）自己資本　2026年８月期第１四半期　9,000百万円　2025年８月期　8,870百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年８月期	－	0.00	－	13.20	13.20
2026年８月期	－				
2026年８月期（予想）		0.00	－	17.40	17.40

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年８月期の連結業績予想（2025年９月１日～2026年８月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第２四半期（累計）	13,100	6.5	1,030	△24.6	1,040	△25.1	680	△26.0	51.27
通期	27,400	10.6	2,850	11.7	2,880	10.8	1,870	9.4	140.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）　　　　　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　　　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　　　　　　　　　　　：無

③　会計上の見積りの変更　　　　　　　　　　　　　：無

④　修正再表示　　　　　　　　　　　　　　　　　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年８月期１Ｑ	13,680,900株	2025年８月期	13,680,900株
②　期末自己株式数	2026年８月期１Ｑ	449,870株	2025年８月期	417,970株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年８月期１Ｑ	13,253,465株	2025年８月期１Ｑ	13,515,783株

（注）期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式付与 ESOP信託口」が保有する当社株式が含まれております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
３．補足情報 …… 10
（販売実績） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米における金融引締めの影響や中国経済の回復の鈍さ、ウクライナ情勢および中東地域を巡る地政学的リスクの長期化などを背景に、海外経済の不確実性が継続いたしました。また、エネルギー・原材料価格の変動や為替相場の不安定な推移もあり、先行きに対する慎重な見方が残る状況となりました。一方で、持続的な賃上げの広がりや雇用環境の改善、インバウンド需要の回復、政府による各種経済対策の効果等により、国内景気は緩やかな回復基調を維持いたしました。加えて、日本銀行による金融政策の正常化に向けた動きも進み、経済環境は大きな転換期を迎えております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、生成AIの急速な進展および実用化を背景に、企業の業務高度化・省人化を目的としたIT・DX関連投資が引き続き堅調に推移いたしました。特に、生成AIを活用した業務改革やデータ利活用の高度化、クラウドを前提としたシステム刷新、サイバーセキュリティ対策の強化に対する需要が拡大しております。これにより、クラウドネイティブなシステムインテグレーションやシステム運用・保守サービスは、企業の持続的成長を支える重要な経営基盤として、その重要性を一層高めております。一方で、国内のIT人材不足は依然として深刻であり、生成AI、クラウド、セキュリティなどの先端分野に対応可能な高度IT人材の育成および確保が、業界共通の課題となっております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、質の高いITエンジニアの採用および育成を積極的に推進するとともに、ビジネスパートナーとの連携強化により、柔軟かつ安定的なリソース体制を構築し、幅広いITサービスの提供に努めてまいりました。また、生成AIをはじめとする先端技術への対応力強化を目的とした教育・研修の充実や、エンジニアの付加価値向上を図るDXシフトを推進し、IT・DX領域の社会実装を支える「デジタルインテグレーター」としての事業基盤の一層の強化に取り組んでおります。

これらの結果、当社グループの売上高は6,252,936千円（前年同期比0.9％増）、営業利益は582,345千円（前年同期比24.3％減）、経常利益は587,268千円（前年同期比24.3％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は356,971千円（前年同期比25.8％減）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

① デジタルインテグレーション事業

デジタルインテグレーション事業において、SI（システムインテグレーション）領域では、ITインフラソリューションとして、各種ITシステムの構築から運用・保守までを一貫して手掛けております。加えて、生成AIをはじめとするAI技術を活用し、より効率的かつ高度なサービス提供体制の構築に向けた取り組みを推進しております。

DX（デジタルトランスフォーメーション）領域では、顧客管理・営業管理システム「Salesforce」や統合人事システム「COMPANY」を中心としたクラウドソリューションの導入、運用および定着化を支援しております。また、法人向けChatGPT活用サービス「NewtonX」を通じて、導入企業におけるAIの業務活用を促進しております。さらに、IoTクラウドサポートセンターにおいては、クラウドインフラおよびIoTサービスの運用を24時間365日体制で提供しております。

当第１四半期連結累計期間においては、ITシステムの構築・運用やクラウド基盤への移行、24時間365日対応のマネージドサービスに対する堅調なIT投資需要を背景に、取引拡大に取り組みました。あわせて、SalesforceおよびCOMPANY領域においては、営業・業務プロセス改革や人事領域に関する案件について、コンサルティング要素を強化した提案を行い、サービスの高付加価値化に努めました。

これらの結果、当セグメントの売上高は6,034,524千円（前年同期比0.8％増）、セグメント利益は605,553千円（前年同期比23.1％減）となりました。

② みどりクラウド事業

みどりクラウド事業では、ITを活用して農業・畜産・水産分野のDX化を支援する「みどりクラウド」「ファームクラウド」などのプラットフォームサービス、および一次産業をはじめとした各産業分野の個別課題を解決するソリューションサービスを展開しております。

当第１四半期連結累計期間においては、引き続きソリューションサービスの受注拡大に注力いたしました。また、2023年３月にリリースした、青果流通の現場にバーコードやクラウドシステムなどのデジタル技術を導入する「みどりクラウドらくらく出荷」の拡販等、将来の事業拡大に向けた先行投資を行っております。農産物の集出荷業務に関しては、多くの農業者や出荷団体が共通の課題を抱えており、今後は全国のJAや生産法人に向けた拡販を進めてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は50,369千円（前年同期比11.2％減）、セグメント損失は43,041千円（前年同期はセグメント損失24,484千円）となりました。

③　機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社セラクビジネスソリューションズにおいて、3DCAD分野の技術、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術、ならびに各種建設および情報通信に関する技術を提供しております。

当第１四半期連結累計期間においては、研修環境の拡充を図り、エンジニアの採用および育成に注力いたしました。安定した稼働率の維持や新たな技術分野における案件獲得が進んだことにより、事業は堅調に推移いたしました。引き続き、各領域および分野での案件獲得が期待されることから、教育によるエンジニアの付加価値向上や地理的展開を図りつつ、企業規模の拡大を進めてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は205,733千円（前年同期比9.4％増）、セグメント利益は14,834千円（前年同期比156.4％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ754,386千円増加し14,078,723千円となりました。これは主に、仕掛品が15,324千円減少したものの、現金及び預金が300,008千円、繰延税金資産が200,357千円、建設仮勘定が128,828千円増加したことなどによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ624,781千円増加し5,046,344千円となりました。これは主に、賞与引当金が552,195千円、未払法人税等が89,002千円、流動負債（その他）が84,606千円減少したものの、未払金が1,267,009千円、未払消費税等が99,584千円増加したことなどによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ129,604千円増加し9,032,379千円となりました。これは主に、自己株式の取得により自己株式が49,969千円増加し、純資産額が減少したものの、利益剰余金が180,581千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月期の業績予想につきましては、2025年10月15日の「2025年８月期決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年８月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,765,946	8,065,954
売掛金及び契約資産	2,835,099	2,900,993
仕掛品	38,026	22,701
原材料	57,629	53,469
その他	216,664	276,049
貸倒引当金	△2,239	△2,109
流動資産合計	10,911,126	11,317,059
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	218,201	210,738
工具、器具及び備品（純額）	45,822	44,074
土地	613,061	613,061
建設仮勘定	－	128,828
その他	2,015	9,785
有形固定資産合計	879,100	1,006,488
無形固定資産		
ソフトウエア	121	91
のれん	99,103	92,672
その他	1,807	1,807
無形固定資産合計	101,032	94,571
投資その他の資産		
投資有価証券	3,496	3,496
繰延税金資産	536,015	736,373
敷金及び保証金	337,449	334,582
保険積立金	546,696	576,385
その他	13,532	13,879
貸倒引当金	△4,113	△4,113
投資その他の資産合計	1,433,077	1,660,603
固定資産合計	2,413,210	2,761,663
資産合計	13,324,336	14,078,723
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,631	319,413
１年内返済予定の長期借入金	27,798	19,467
未払金	1,484,676	2,751,686
未払法人税等	543,327	454,325
未払消費税等	384,360	483,945
賞与引当金	1,157,787	605,592
受注損失引当金	1,539	2,045
その他	350,961	266,355
流動負債合計	4,283,083	4,902,829
固定負債		
退職給付に係る負債	79,720	78,516
株式給付引当金	55,525	55,525
その他	3,233	9,472
固定負債合計	138,479	143,514
負債合計	4,421,562	5,046,344

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年８月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	312,433	312,433
資本剰余金	224,583	224,583
利益剰余金	8,912,336	9,092,917
自己株式	△582,678	△632,648
株主資本合計	8,866,675	8,997,286
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	4,027	3,020
その他の包括利益累計額合計	4,027	3,020
新株予約権	32,072	32,072
純資産合計	8,902,774	9,032,379
負債純資産合計	13,324,336	14,078,723

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年９月１日 至　2024年11月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年９月１日 至　2025年11月30日）
売上高	6,200,156	6,252,936
売上原価	4,487,162	4,642,303
売上総利益	1,712,993	1,610,633
販売費及び一般管理費	944,014	1,028,287
営業利益	768,978	582,345
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	1,377
不動産賃貸料	1,349	104
保険解約返戻金	5,216	－
違約金収入	－	850
物品売却益	－	621
補助金収入	－	1,637
その他	67	516
営業外収益合計	6,644	5,106
営業外費用		
支払利息	176	52
支払手数料	97	130
その他	7	－
営業外費用合計	281	183
経常利益	775,341	587,268
特別利益		
新株予約権戻入益	19	－
固定資産売却益	－	350
特別利益合計	19	350
税金等調整前四半期純利益	775,360	587,619
法人税、住民税及び事業税	456,684	430,560
法人税等調整額	△162,596	△199,913
法人税等合計	294,087	230,647
四半期純利益	481,273	356,971
親会社株主に帰属する四半期純利益	481,273	356,971

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年９月１日 至　2024年11月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年９月１日 至　2025年11月30日）
四半期純利益	481,273	356,971
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△618	△1,006
その他の包括利益合計	△618	△1,006
四半期包括利益	480,654	355,964
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	480,654	355,964

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年９月１日 至　2024年11月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年９月１日 至　2025年11月30日）
減価償却費	12,565千円	12,954千円
のれんの償却額	6,430千円	6,430千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　2024年９月１日　至　2024年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	デジタルインテグレーション	みどりクラウド	機械設計エンジニアリング	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,984,453	56,705	158,997	6,200,156	－	6,200,156
セグメント間の内部売上高又は振替高	142	－	29,145	29,287	△29,287	－
計	5,984,595	56,705	188,142	6,229,443	△29,287	6,200,156
セグメント利益又はセグメント損失（△）	787,124	△24,484	5,785	768,425	553	768,978

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額553千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　2025年９月１日　至　2025年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	デジタルインテグレーション	みどりクラウド	機械設計エンジニアリング	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,034,524	50,369	168,042	6,252,936	－	6,252,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	37,690	37,690	△37,690	－
計	6,034,524	50,369	205,733	6,290,627	△37,690	6,252,936
セグメント利益又はセグメント損失（△）	605,553	△43,041	14,834	577,345	4,999	582,345

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額4,999千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．補足情報

（販売実績）

区分	前第１四半期連結累計期間		当第１四半期連結累計期間		対前年同期増減率(%)
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	
システムインテグレーション	4,056,243	65.4	4,184,896	66.9	3.2
デジタルトランスフォーメーション	1,928,209	31.1	1,849,628	29.6	△4.1
みどりクラウド	56,705	0.9	50,369	0.8	△11.2
機械設計エンジニアリング	158,997	2.6	168,042	2.7	5.7
計	6,200,156	100.0	6,252,936	100.0	0.9